

藤沢市長選挙

選挙公報

令和2年2月16日
執行

藤沢市選挙管理委員会

チェンジ藤沢!

- ① 小学校給食無償化・中学校給食完全実施
- ② コミュニティバスによる交通困難エリア解消
- ③ 市長給与半減・市役所肥大化ストップ!

人と未来に投資する
「市民ファースト」の藤沢へチェンジ!



- 1 わが街の宝 未来をつくる子どもに!
- 2 地域力を向上し 安心長寿社会に!
- 3 いのちを守る 実効力ある防災政策!
- 4 技術革新が起き 活力ある地域経済に!
- 5 官民連携の街づくり 住んで誇れる街へ!
- 6 市民目線の行政で オール藤沢の実現!



無所属
水戸まさし 57才

藤沢への想い
政策の詳細は
webへ



水戸まさし
プロフィール
昭和37年7月生まれ、57歳。善行小、藤沢一中、湘南高校、慶應義塾大学卒業。オムロン株式会社入社。平成7年、神奈川県議に当選(以降、連続3期)。平成19年、参議院議員に当選。平成26年、衆議院議員に当選。平成30年、一般社団法人「人づくり・国創り研究会」設立。現在、政党に属さず無所属で活動を展開中。◆家族:妻、一男二女の5人家族◆資格等:税理士、行政書士、保護司、小型船舶1級、珠算3段

28年 着実な鈴木市政の 主な歩みと成果

- 100を超える多様な団体・企業・大学と協働するマルチパートナーシップによる、様々な課題への取り組み
- 「市役所本庁舎」「F プレイス」「地域福祉プラザ」「善行市民センター」「辻堂市民センター」などの老朽化した公共施設の複合化による再整備
- 北部の産業集積拠点「新産業の森」開設と企業誘致の実現
- 防災ラジオ頒布や防災備蓄資機材の増強、津波避難施設の整備
- 「災害に強い病院」を目指した市民病院の再整備
- 藤沢市災害復興条例と藤沢市災害復興基金条例の制定
- 地域包括ケアシステムへの取り組み、「コミュニティソーシャルワーカー」の11地区への配置、「地域の緑創」35カ所の設置
- 4年間で保育所1600名超えの定員拡大と、「放課後児童クラブ」18カ所新設による500名超の定員拡大
- 小児医療費助成の対象年齢を中学3年生まで拡大
- 経済的困難者の就学支援に向けた、独自の給付型奨学金制度の創設
- 小中学校全普通教室への空調設備設置、中学校給食の全校導入
- オリンピックの開催都市と、エルサルバドル共和国・ポルトガル共和国チームのキャンプ地誘致、市民参加による気運の醸成
- 利便性の向上を目指した「藤沢市南市民図書館」「藤沢市民ギャラリー」の藤沢駅前商業施設への移転
- 「ふじさわ宿交流館」「藤沢市アーツスペース」「藤澤浮世絵館」開館

この間のまちづくりの成果について様々な視点で評価をいただきました。

人口	人口の社会増が全国 第14位 (2018年) ・人口約20,000人増加 (2018年)
年少(0~14歳)人口の社会増	全国 第8位 415,000人→435,000人へ
税収と財政	・税収は約62億円増加 764億円→826億円 ・財政力指数 第25位(全国791市中) ・財政の安定性 第32位(全国791市中)
持続可能性	・SDGs(持続可能な開発目標) 先進度ランキング 2018年 全国 第26位 (日本経済団体連合会)

今後も「藤沢のため」に頑張ります。



みんなが大好きだと
思える藤沢は

藤沢らしさを育てる
みんなが、藤沢に誇りをもって住み続けたいと思える街を目指します

効率的な行政を進める
透明度の高い開かれた市政運営に努めます

安全・安心を守る
あらゆる災害や犯罪に備えて万全な対策をとり、市民を守ります

都市基盤を整え、
産業、観光を活性化する
街が賑わい、企業が育ち、多くの人々が
行きたくなる元気な街にします

共に生きる
子どもを育て、元気に生活し、老後も安心な街にします

みんなで未来はGO

経歴
昭和25年 藤沢市生まれ/大道小、藤ヶ岡中、平塚江南高校、早稲田大学を卒業
昭和54年 29歳で藤沢市議会議員初当選。4期16年間で市議会議員などを歴任。
平成7年 神奈川県議会議員初当選。以降5期連続当選。
平成24年 藤沢市長選挙で当選。平成28年藤沢市長選挙で再選。
令和元年 ベスト・ファーマーイノベーション賞受賞。

未来に向かう政策と2期8年の歩みと成果・経歴は
ホームページで紹介しています。 <http://tsunesan.com>



未来に向かう政策
鈴木つねお

投票日 2月16日(日)午前7時～午後8時

- ◎投票所にはご自分のお名前が書かれた入場整理券をお持ちください。
- ◎入場整理券がなくても投票することができますので、投票所の係員にお申し出ください。

藤沢市長選挙

令和2年2月16日
執行

選挙公報

藤沢市選挙管理委員会

市民の目線で市政を変えます

子育て・福祉・暮らし優先のふじさわへ

- ◎全員の制の中学校給食の実施
- ◎認可保育園増設・待機児解消
- ◎ごみ袋は当面半額に
- ◎国民健康保険料は一人一百万円の引き下げ
- ◎70歳以上のバス助成制度創設
- ◎住宅・商店リフォーム助成制度
- ◎公契約条例を実現
- ◎防災・減災対策の抜本的強化
- ◎ジェンダー平等の市政パートナーシップ制度の創設
- ◎気候非常事態を宣言
- ◎公共施設の自動販売機からペットボトルを撤去
- ◎平和事業の拡充、戦争賛美の教科書に反対

財源はあります
村岡新駅建設・周辺整備計画(約400億円)をやめ、何でも使える市の貯金100億円の活用で実現は可能です。

藤沢から「安倍政治ノ」の審判を

推せんします

日本共産党
緑の党神奈川県本部

市政に精通
県議1期4年
市議3期12年

1958年東京都生まれ。県立小田原城東高校卒。生命保険会社本社勤務。新日本婦人の会藤沢支部常任委員。家族：夫と3女。藤沢市円行在住。

子育て・福祉・暮らし優先 チームふじさわ



加藤
なを子
無所属

投票日 2月16日(日)午前7時～午後8時

- ◎投票所にはご自分のお名前が書かれた入場整理券をお持ちください。
- ◎入場整理券がなくても投票することができますので、投票所の係員にお申し出ください。